

■ 議会モニターから提出された意見について（平成27年）

No	受付日	意見の要旨	検討結果
1	平成27年3月1日	【議案書について】 配られている予算書の厚さと紙の質の高さに驚いた。こんなに厚く、きれいな紙を全員分印刷・配付するとなるとかなりの出費になるのではないかと感じた。PDF資料を配付し、ノートパソコンで確認すればよいと感じた。市・議会双方ICTに取り組みののであればペーパーレス化もひとつの施策かと思う。（保存用等で印刷物を残すのは問題ない。）	議案書は、昨年からホームページに掲載しておりますので、ダウンロードすることが可能となっております。パソコンやタブレット端末に取り込むことについては、議会改革特別委員会で視察を実施し、メリット・デメリットについて研究しております。一方、ボリュームのある資料であり、内容を審査するためには、紙媒体によるほうがしっかりと審査できるという意見もあることから、戸田市議会では、パソコン等の持ち込みは任意とさせていただいております。議場や委員会室でのWi-Fiの導入も視野に入れて検討しておりますが、予算上大変厳しい状況となっております。27年度予算では、予算要求しましたが、残念ながら予算化に至らなかった経緯がございます。今後も、電子化について研究を進めてまいりたいと考えております。
2	平成27年3月1日	【子供向け出前講座について】 以前にも出前講座に関する提言があったが、平日のみの受付のようなので、仕事をしている身としては活用できない。議会を子供たちにも是非見せたい、聞かせたい、それにより積極的な次世代市民を育成することができるのではと感じた。職員による出前講座が難しいようであれば、議員の方による子供向け出前講座を検討していただくとありがたい。	出前講座につきましては、平日以外でも、日程の調整が可能となっております。「市議会のあらし」というメニューを御用意しておりますので、実施についてお気軽に御相談ください。
3	平成27年3月31日	【予算書について】 分厚い予算書について、議員には製本されたものを渡しているのか、PDF等のデータで渡しているのか。	議員には、議案審議に当たって、製本された予算書が配付されております。なお、戸田市議会のホームページでは、予算書を含め、議案書を公開しており、データとして参照することも可能となっております。
4	平成27年3月31日	【本会議中のタブレット操作について】 執行部の予算説明の際、タブレットを操作している議員がおり、違和感を覚えた。予算書をタブレットで確認しているのか。	戸田市議会では、議会のICT化の一環として、平成26年2月に、「戸田市議会における情報通信機器の使用基準」を定め、インターネット検索やメモなどをとることを目的として、議場や委員会室への、パソコンやタブレット端末の持ち込みを認めております。各議員は使用基準に則って、パソコン等を利用しております。
5	平成27年3月31日	【議員活動について】 日頃の議員活動が見えてこないが、議会だより以外に、戸田市民全体に対し、議員自身の施策や活動内容を伝える方策をとっているか。	議員自身の施策や活動内容の広報・周知ということについては、基本的に議員が個人で行っておりますが、場合によって、会派において行う場合もあります。今後とも、開かれた議会を目指し、より一層、議員各自が尽力して取り組んでまいります。
6	平成27年4月6日	【議場について】 傍聴席を含む議場のバリアフリー化はどこまで進んでいるか。また、今後の計画は。参考資料を添付する。	議場のバリアフリー化について、現状では、傍聴席に車いす席を2席設けているほか、事前の申し込みは必要ですが、聴覚障害のある方のために、手話通訳による傍聴も可能となっております。また、平成27年度に議場の改修を行い、階段の一部をスロープ化することを計画しておりますが、予算措置されなかったため、実施を見送った経緯があります。厳しい予算制約がありますが、今後、できるところからバリアフリー化を進めていきたいと考えております。
7	平成27年5月1日	【議会に対する意見について】 市民に議会への関心をもってもらうためにも、「市長への手紙」と同様の取り組みとして、「議長への手紙」を検討してはどうか。	議会と市長は、ともに市民の信託を受けて活動し、議会は合議制の機関、市長は独任制の機関として、それぞれの特性を活かし、市民の意思を的確に反映させるために競い合い、協力し合いながら最良の意思決定に向けてそれぞれ尽力しています。これまで議会は、請願や陳情はもちろんのこと、市民からいただいた意見等に対して、議会運営委員会等での取り扱いを協議し、対応させていただいており、ご提案いただいた「議長への手紙」を設ける必要性は低いものと考えています。
8	平成27年5月7日	【議会改革特別委員会での発言について】 委員が会派の見解として述べているのか、個人の見解として述べているのか、疑問に感じた。会派の見解を述べるのであれば、会派内で見解を取りまとめた後から出席すべきではないか。	基本的には、会派内で協議を行った上で、会派の見解として発言をしておりますが、場合によっては、委員個人の見解として発言することもあります。なお、その場で判断しかねる案件については、会派に持ち帰り、会派内で見解を取りまとめた後、後日、改めて発言する場合もあります。
9	平成27年5月7日	【議会改革特別委員会の協議内容(大学との連携)について】 市内には、大学の教職者や研究者等、優れた人材がおり、こうした地域のリソースの活用を検討してはどうか。なお、その際は、適正な報酬を支払うことが必要と考える。	大学との連携については、議会改革特別委員会において、先進市への視察を実施する予定であり、その視察を踏まえ、検討していくことを予定しております。
10	平成27年5月7日	【議会改革特別委員会の協議内容(議会のICT化)について】 議会のICT化については、最低限必要な機能を明確にする必要がある。データの蓄積・データの作成・データの参照の3つの状況に区別して考えるべき。データの蓄積は、データをどう維持するか、特にデータの復旧を考慮すべき。データの作成は、操作性の良いパソコンを利用すべきであり、データの参照は、いつでもどこでも使えるスマートフォンやタブレットで十分と考える。	ご提案いただいた点につきましては、貴重なご意見として、議会改革特別委員会における協議の際の参考とさせていただきます。
11	平成27年5月7日	【過去に議会モニターから提出された意見に対する回答について】 過去に議会モニターから提出された意見について、検討する旨回答したもののについて、その後の検討状況を伺う。 意見要旨：議員による出張出前講座を実施してはどうか。 回答要旨：議会のあらしなどを知りたい場合には、生涯学習課所管の「まちづくり出前講座」をご利用いただきたい。議会独自の出前講座を含む市民との協働・交流事業について、議会改革特別委員会で検討していく。	出前講座という形ではありませんが、これまでも、年間活動テーマ等に関する委員会活動において、市民や市民団体との意見交換会を行ってきました。また、現在、議会改革特別委員会において、意見交換の場を多様に設けることを目的とした議会懇談会の実施について検討しているところでもあります。なお、本年5月から「議会を知っtoこ市議会見学ツアー」を実施しており、事前にお申し込みいただければ、普段は入れない議場等が見学できるようになっております。
12	平成27年5月7日	【過去に議会モニターから提出された意見に対する回答について】 過去に議会モニターから提出された意見について、検討する旨回答したもののについて、その後の検討状況を伺う。 意見要旨：委員会の録画公開や日曜日開催をしてもらいたい。 回答要旨：議会改革の一環として、委員会の夜間開催、日曜日開催、出張開催などについて検討する。	委員会の夜間開催や日曜日開催、出張開催等については、現在も検討中ではありますが、職員の人員費などを考慮いたしますと、実施は難しい状況にあります。なお、文教・建設常任委員会では、平成25年12月と平成26年12月の土曜日に、図書館において、イベントを開催いたしました。今後とも、多くの方に傍聴いただけるよう尽力するとともに、委員会室に限らず、外に目を向けた委員会活動につきましても、引き続き検討してまいります。

13	平成27年5月7日	<p>【過去に議会モニターから提出された意見に対する回答について】 過去に議会モニターから提出された意見について、検討する旨回答したもののについて、その後の検討状況を伺う。</p> <p>意見要旨：議場に国旗や市旗を掲げてもらいたい。 回答要旨：これまでも検討してきた経緯があり、引き続き検討していく。</p>	<p>議場への市旗の掲揚については、議場改修に合わせて実施することを決定しております。国旗につきましては、意見が一致していないことから、引き続き検討してまいります。</p>
14	平成27年5月7日	<p>【過去に議会モニターから提出された意見に対する回答について】 過去に議会モニターから提出された意見について、検討する旨回答したもののについて、その後の検討状況を伺う。</p> <p>意見要旨：常任委員会の配付資料について、審査内容を深めるため、一週間前に各委員に配付してはどうか。 回答要旨：できる限り早めに資料を提出するよう、執行部に求めていくとともに、審査のより一層の充実を努める。</p>	<p>これまでも、執行部に対し、資料を早めに提出するよう求めてまいりました。今後も、引き続き早期提出を求めてまいります。</p>
15	平成27年5月7日	<p>【過去に議会モニターから提出された意見に対する回答について】 過去に議会モニターから提出された意見について、検討する旨回答したもののについて、その後の検討状況を伺う。</p> <p>意見要旨：議会ホームページの予定表を見ても、委員会等で具体的に何を協議するのか分からない。議員が、傍聴を呼びかけるメッセージを議会ホームページに書き込めるようにしてはどうか。 回答要旨：議会ホームページの構造上、議員が自由にメッセージを書き込むことはできないが、ソーシャルメディアの活用など、時間をかけて、議会情報の発信を検討していく。</p>	<p>議会情報の発信については、議会広報委員会において、さらなる検討を進めてまいります。なお、委員会等の協議内容に関しましては、お問い合わせいただければ、その時点で決定していることをご案内することは可能です。</p>
16	平成27年5月7日	<p>【過去に議会モニターから提出された意見に対する回答について】 過去に議会モニターから提出された意見について、検討する旨回答したもののについて、その後の検討状況を伺う。</p> <p>意見要旨：視察に関する委員長報告について、視察先で年間活動テーマの何を見たかったのか、戸田市と視察先との規模や環境等の違い、事前に期待していたものとの相違点を示してほしい。また、会議日程に視察報告がある旨記載してもらいたい。 回答要旨：いただいたご意見については、視察後の委員会にて行う検証の際に参考とさせていただきます。会議日程に「視察報告」など内容を加えることについては、検討課題とさせていただきます。</p>	<p>会議日程に「視察報告」を記載することについては、他にも記載していない事項があり、バランスを考慮すると、難しいものと考えています。今後、ホームページへの掲載について、議会広報委員会において検討してまいります。</p>
17	平成27年7月3日	<p>【議会だよりへの議案番号の記載について】 とだ議会だよりNo.185「12月定例会」を読んだ意見。 議会だよりの記事について、議案番号を記載してもらえると、議会録画放映とのリンクが容易になると思う。 また、パソコン等を所有していない人のために、議会録画放映も含め、市議会のホームページが検索できるよう、市庁舎内にパソコンを設置してはどうか。</p>	<p>庁舎2階の総合案内の付近に、インターネット検索ができるパソコンが2台設置されています。ただし、利用する方が多く、使用時間も限られていることから、議会だよりの記事に議案番号を記載することも含めて、議会広報委員会において検討していきます。</p>
18	平成27年7月3日	<p>【自転車駐車場条例の一部改正について】 とだ議会だよりNo.185「12月定例会」を読んだ意見。 自転車駐車場条例の一部改正が、21対4で原案可決されたことについて、議会だよりでは、学生や一時利用等の金額が見えず、どのように改定されるのか不安を感じる。月極め利用者が減るのではないかと。 また、負担の公平性の観点から受益者負担100%と書かれているが、一度に料金を4倍に上げるようなことが簡単に可決されてしまっただよいものなのか。</p>	<p>議案は、慎重に審議をし、十分に議論を交わした上で、議会のルールに基づいて議決をしておりますことをご理解いただきたいと思います。 また、昨年12月定例会で可決された「議案第105号 戸田市自転車駐車場条例の一部を改正する条例」は、あくまで、自転車駐車場の利用料の上限を定めたものです。この9月定例会において、自転車駐車場の指定管理者の指定に関する議案が上程されております。この議案が、慎重審議の上、可決されますと、市と指定管理者が協定を結び、自転車駐車場条例に定める範囲内で、利用料金が決定されることとなります。</p>
19	平成27年7月3日	<p>【政務活動費について】 とだ議会だよりNo.185「12月定例会」を読んだ意見。 議会だよりに、平成25年度の政務活動費収支状況一覧表が掲載されているが、会派間で、調査費と広報費に大きな差が出ている。開かれた議会を目指すためにも、市民に対する広報費に、もう少し政務活動費を使ってもよいのではないかと。</p>	<p>政務活動費は、議員の調査研究に資するために必要な経費の一部として各会派に交付するもので、「戸田市議会政務活動費の交付に関する条例」に定める政務活動費を充てることができる経費の範囲内で、各会派の考えに基づいて、支出しております。議員によっては、広報活動を自己負担で行っている場合もあり、政務活動費の広報費の額をもって広報活動が不足しているとは言えない状況にあります。なお、より一層開かれた議会を目指し、今後とも、議員一同、鋭意努力してまいります。</p>
20	平成27年7月3日	<p>【報告会・公開討論会等について】 議会への関心が薄れ、選挙の投票率も低下してきているように思う。議会への関心を高めるためにも、上戸田地区、美女木地区等の単位で、報告会・公開討論会等を行ってはいかかか。</p>	<p>本市議会・議会改革特別委員会では、これまでも議会への関心を高めるための方策を検討してきました。その1つの成果として、これまで各委員会の判断により実施してきた市民団体等との意見交換について、統一的なルールを設けるため、「戸田市議会懇談会実施要綱」を本年9月1日に施行しました。この要綱に基づいて、市民団体等との意見交換の場を積極的に設けていくとともに、引き続き、議会への関心が高まるよう、議会改革特別委員会において検討を進めていきます。</p>
21	平成27年10月21日	<p>【議会行事予定のアピールについて】 広報戸田市には、これからの行事が記載されており、興味のある行事を、自分の予定に組み込むことができるが、議会ホームページや議会だよりは記録的な内容がほとんどであり、定例会の予定程度しか記載されていない。また、その会議内容もわからないとなると興味も湧かないと思う。 市民が参加できるのは、これから起こることだけであり、予定面ではアピールすれば傍聴者もふえるのではないかと。</p>	<p>年4回発行の議会だよりにおいて、原則月2回発行の広報戸田市と同様の対応を図ることは難しいものと考えますが、議会ホームページでの対応については検討していきます。なお、参考までに申し上げますと、議会広報委員会では、東京都町田市議会を視察するなど、議会ホームページのあり方について調査研究を進めています。</p>

22	平成27年11月24日	<p>【議場における国旗と市旗の掲揚について】</p> <p>他市の議場を詳しく調査したわけではないが、ニュースなどで見る限り、多くの市町村で掲揚されている。国旗の掲揚は行われて当然であり、小中学校の入学式や卒業式でもごく普通に掲揚されている。ぜひ議場への掲揚をお願いしたい。</p>	<p>議場への市旗の掲揚は、議場改修に合わせて実施することを決定しております。現在、議場改修に関する予算を要求しており、予算の確保ができましたら、平成28年度に議場改修を行い、その後、市旗の掲揚を実施したいと考えております。</p> <p>国旗の掲揚については、いまだ意見の一致には至っていないことから、引き続き検討していきます。</p>
23	平成27年11月24日	<p>【視察研修について】</p> <p>視察先の選定をどのように行っているのか、疑問を感じる。以前、戸田市とは相当かけ離れた大都市に視察に行っていたことがあった。まちづくりのための視察、市民サービス向上のための視察、インフラ整備のための視察等、さまざまな目的の視察があると思うが、財政規模が全く異なるため、よい視察先ではなかったと考える。調査すれば、視察に行く価値のある地方自治体があるのではないかと。また、視察によって運行できた「tocoバス」などはもっとアピールすべきと考える。</p>	<p>先進事例に取り組む自治体を対象に、その事業内容を十分検討した上で、視察先を選定しております。その結果、大都市に行くこともあれば、町に行くこともあり、財政規模が異なるから参考にならないとは、一概には言えないことをご理解いただきたいと思います。特に、常任委員会では、年間活動テーマに基づいて視察先を選定しており、その成果として、市民福祉の向上や市政発展のため、委員会提案による条例や提言書を取りまとめ、執行機関に対して、政策提言を積極的に行っています。今後とも、視察に当たっては、その内容や効果等を十分に検討した上で実施していきます。</p> <p>なお、tocoバスは、執行機関において検討を進め、平成13年に本格運行を開始しております。決して議会の視察結果を受けて、運行に至ったわけではありません。</p>
24	平成27年11月24日	<p>【防災に関して】</p> <p>平成26年4月に、防災の指針となる戸田市ハザードブックが完成し配布された。災害発生時、現場の状況を把握するためには映像が必要であるが、有線だと、地震発生時に切断してしまう可能性もあることから、ドローンなどを使用した無線による映像伝送が必要と考える。</p> <p>荒川が、戸田市側で決壊した場合、新曽地区は4mの水位が予想されており、学校に保管されている防災用品・食料などのほか、手動式の飲み水用ポンプも水没してしまう。そこで、各家庭で水や食料をどの程度備蓄すればよいか判断できるよう、水位が下がるまでの時間がわかるようにしてもらいたい。</p> <p>最悪の想定は、マグニチュード8クラスの地震が発生し、荒川の堤防に亀裂が入り、その後、東京湾から大津波が押し寄せ、堤防が決壊して戸田市に流入したときであろうと思う。最近、日本各地で小規模の地震が発生していることから、万全の対策をお願いしたい。</p>	<p>市議会モニターは、市議会の運営等に関し、市民からの要望、提言その他の意見を広く聴取し、市議会の円滑かつ民主的な運営を推進することを目的として設置されています。今回いただいたご意見につきましては、執行機関に関する内容であり、議会として回答することはなじまないものと考えます。</p> <p>なお、参考までに申し上げますと、平成27年9月関東・東北豪雨を受け、荒川の氾濫対策に万全を期すことを求める要望書を国に提出するよう関東市議会議長会に要請いたしました。</p>
25	平成27年11月24日	<p>【条例について】</p> <p>戸田市ではさまざまな条例が制定されている。禁煙条例などは各方面から情報が入ってきたが、市民に影響のある条例が周知されていないように思う。広報戸田市も1つの方法だが、より周知徹底する必要があるのではないかと。</p>	<p>このご意見も、主に、執行機関に関する内容であることから、議会として回答することはなじまないものと考えます。なお、委員会提案による条例は、議会ホームページや議会だよりを活用して、広く周知を図っています。</p> <p>委員会提案条例として、中小企業振興条例、みんなで守ろう自転車の安全利用条例、歯科口腔保健の推進に関する条例があります。</p>
26	平成27年12月28日	<p>【一般質問の時間について】</p> <p>一般質問の時間を、10分以上残して終了するのは、いかがなものか。</p>	<p>与えられた一般質問時間をどのように使うかは、質問する議員の裁量に委ねられています。聞きたいことを簡潔に聞き、それに対応する答弁内容が得られた場合などに、時間を残して質問を終了したとしても、問題はありません。</p>
27	平成27年12月28日	<p>【一般質問について】</p> <p>質問内容について、鋭さが感じられず、さらに質問時間を残して終了するのは、いかがなものか。</p>	<p>質問内容に何をとり上げ、時間を配分し、どのように組み立てるかには、議員ごとに手法が異なります。それらは、質問する議員の裁量に委ねられておりますので、ご理解をいただきたいと思います。</p>
28	平成27年12月28日	<p>【一般質問での発言について】</p> <p>限られた質問時間の使い方として、質問に関連する条例等の条文を逐一読み上げることは無駄ではないかと。まして、事前に質問内容が通告されているのであれば、無意味と感じる。</p>	<p>ご指摘いただいた点を省略した場合、他の議員や傍聴者、議会議中継や議会議録放映の視聴者にとって、質問内容がわかりにくく、理解できなくなってしまうことが懸念されます。また、会議録を残すという観点からも、一定の必要性があります。傍聴者等、第三者にもわかりやすい質問とするための1つの方法でありますので、ご理解をいただきたいと思います。</p>
29	平成27年12月28日	<p>【パネルについて】</p> <p>資料をパネル化している議員がいたが、パネル化する意味がわからない。</p> <p>資料をまとめるなり、ビジュアル化するならともかく、資料をそのままパネル化する意図がわからない。内容までは判読できないものであり、なおさら意味がわからない。</p>	<p>資料のパネル化は、資料を閲覧することができない議会議中継や議会議録放映の視聴者に対して、質問内容をわかりやすく説明するために有効な手法であると考えます。資料によっては、そのままパネル化しても、画面をとおしてその細部まで判読することはできませんが、パネルの使用自体には、一定の意味があるものと考えます。</p>
30	平成27年12月28日	<p>【市民への意見聴取と質問への反映について】</p> <p>自分の支持者だけでなく、広く市民の意見を聴取すべく、各種の活動へ自ら足を運び、市中の問題点・市民の意見を聴取し、その結果を質問に反映してもらいたい。</p>	<p>戸田市議会議員信条には「議員は、市民全体の代表者であることを自覚し、市民の福祉向上に奉仕すること」とされており、議員各自、これまでも、支持者に限らず広く市民の声を聴き、質問への反映に努めてきたところではありますが、今後も、より一層努力してまいります。</p>
31	平成27年12月28日	<p>【SNS等による情報発信について】</p> <p>質問内容について、議事録公開前にSNS等を使って発言している議員がいるが、問題はないのか。</p>	<p>議事録の公開には時間がかかります。より多くの人に素早く情報発信ができるというSNSの性質上、議事録公開前に、自分自身の質問内容について発信することは、問題ないものと考えます。</p>